日独小児靴学研究会

2019年度・第四期

小児靴学【プライマリーコース】

2019.02.07.更新

全68時間

講 師（敬称略）	講義日数	担当コマ	
■常任講師　整形外科医　塩之谷 香	4日	90分×　2　／　60分×4	計　480分
■常任講師　マスターシューアドバイザー　伊藤 芙子	8日	90分×１５／30分×１／マイスターと合同■＋研究MTG 30分×５＋研究リハ180分	計　1,710分
■常任講師　ドイツ整形外科靴マイスター　ベーレ ルッツ	6日	90分×　8／60分×１／伊藤と合同■	計　780分
■常任講師　義肢装具士　島村 雅徳	2日	90分×　2	計　180分
■特別講師　多和田 忍　／　落合 達宏　／橋本 健史	各１日	各90分×３	計　210分
■ランチタイムセミナー　ベーレ 操　／　大谷 知子	各１日	各60分×２	計　120分

基礎１
名古屋
名古屋国際
センタービル

2019年 5 月
10日(金)
11日(土)

プライマリー	日 程	1日目 時間	1日目 プログラムNo.	1日目 講義内容		2日目 時間	2日目 プログラムNo.	2日目 講義内容	
基礎１	2019年 5 月 10日(金) 11日(土)	受付　9:15- 9:30				受付　9:15- 9:30			
		1限　9:30-11:00	1-1/7-1/7-2/7-3/7-4	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ／自己紹介／小児靴学／靴の基礎知識／基本構造／小児靴の役割／分類		1限　9:30-11:00	2-1/3-1/3-3/3-5	下肢の形態と構造 I／小児の身体と発達I、小児の足部の成長I、小児の歩行と運動I	
		2限　11:10-12:40	2-3.	下肢の形態と構造II		2限　11:10-12:40	3-2/3-4/3-6	小児の身体と発達 II／小児の足部の成長 II／小児の歩行と運動 II	
		休憩　13:00-14:00	11-2.	[ランチタイムセミナー]ドイツ靴文化と靴教育 日独比較の視点から　ベーレ操		休憩　13:00-14:00	6-1.	[ランチタイムセミナー] 足趾の皮膚と爪のトラブル -小児から成人まで-	
		3限　14:10-15:40	2-1.	機能解剖学イントロダクション		3限　14:10-15:40	2-4/2-5	足部の構造と機能／下肢の構造と機能	
		4限　15:50-17:20	4-3/4-5	探型・探寸技術 II／初期分析と観察 II	演習	4限　15:50-17:20	4-6/4-7	関節とアーチ機能／足部チェック手技	演習
		総括　17:30-18:00		質疑応答		総括　17:30-18:00		質疑応答	
		18:00-18:30		研究発表会レクチャー					
		19:00～		懇親会					

基礎２
東京
NATULUCK
茅場町二号館
4階大会議室

７ 月
19日(金)
20日(土)

プライマリー	日 程	1日目 時間	1日目 プログラムNo.	1日目 講義内容		2日目 時間	2日目 プログラムNo.	2日目 講義内容	
基礎２	７ 月 19日(金) 20日(土)	受付　9:15- 9:30				受付　9:15- 9:30			
		1限　9:30-11:00	5-1/5-2	立位と歩行／小児の歩行の観察		1限　9:30-11:00	6-3.	先天性疾患と足部変形 I	
		2限　11:10-12:40	7-5/8-1	小児の発達と靴の役割と機能／小児の年代による靴の選択と適合		2限　11:10-12:40	6-4.	先天性疾患と足部変形 II	
		休憩　13:00-14:00	11/1/11-5	[ランチタイムセミナー] 私が子供靴の本を書いた訳　靴ジャーナリスト 大谷知子		休憩　13:00-14:00	11-3.	[ランチタイムセミナー] 靴医学とエビデンス ｽﾍﾟｼｬﾘﾃｨ A to Z。	
		3限　14:10-15:40	1-2/1-3	小児靴に考慮する10の課題／小児靴に必要な10の機能		3限　14:10-15:40	4-8.	小児の足部の観察とチェック手技	モデル演習
		4限　15:50-17:20	4-1/4-2/4-4	計測ツールと方法／探型・探寸技術 I ／初期分析と観察 I	演習	4限　15:50-17:20	8-1/8-2	小児の年代による靴の選択と適合／小児の足部形態による靴の選択と適	モデル演習
		総括　17:30-18:00		質疑応答		総括　17:30-18:00		質疑応答	
		18:00-18:30		研究発表会レクチャー&ミーティング					
		19:00～		懇親会					

合同研修会
東京
国際ファッション
センター

９月
15日(日)

時間	内 容
研修会　9:00-17:00 パーティ 18:00-21:00	[特別招聘講演] 橋本 健史先生（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 准教授・副所長） [特別招聘講演] 落合 達宏先生（宮城県立こども病院 整形外科科長・療育支援室長・リハビリテーション科長） ●学術活動報告（学会発表者によるオーラル発表予定）・活動報告・事業計画・全体会議 ●合同パーティ（小児靴カウンセラー認定式）

公開セミナー

10月
12日(土)

時間	内 容
10:00-17:30 (6.5H)	●Franz Landauer 博士「Muscle designs foot “筋が足をデザインする”」 ●OSM Eduard Herbst「小児の足の足底板の考え方とその種類、靴の適合」 ●理学療法士 塩之谷巧嘉「筋の癒縮を減弱させる「上田法」の活用と手技」

【留意事項】

1. 内容、演習、時間等は、進行の都合により変更となる場合があります。
2. ランチタイムセミナーは、**60分**です。昼食をとりながら聴講します。
   ※講義の前に20分、後に10分のブレイクがあります
3. プログラムNo.の章立てを開催日程に当てこんだ進行となっています。
   プログラムNo.に記載された数字は、右記の一覧の章立ての略です。
   例）1-1/7-1　第１章の１／第７章の１
4. 開催年、開催地、日程、講師の都合により、プログラムは変動します。
   欠席される場合の再受講時はご注意ください。
   例）2018年：基礎１の２日目の単元→2019年：基礎２の１日目に移動
   例）2018年：基礎１の２日目の単元→2019年：基礎１の１日目と２日目に移動
5. 研究発表会レクチャーは必須ではありませんが、ご参加をお勧めします。

第33回
日本靴医学会
学術集会

１１ 月
9日(土)
10日(日)

大会テーマ：
体のバランスは靴選びで決まる

大会長：野口 昌彦
至誠会第二病院 整形外科診療部長・足の外科センター長
東京女子医科大学 整形外科客員教授
会場：東京女子医科大学 弥生記念講堂

募集演題：
・フットケア・糖尿病足と靴・関節リウマチの足部変形と靴・スポーツシューズ・ハイヒール・外反母趾のための靴選び・こども靴
・各種基礎研究

基礎３
名古屋
名古屋国際
センタービル

11月
17日(日)
18日(月)

プライマリー	日 程	1日目 時間	1日目 プログラムNo.	1日目 講義内容		2日目 時間	2日目 プログラムNo.	2日目 講義内容	
基礎３	11月 17日(日) 18日(月)	受付　9:15- 9:30				受付　9:15- 9:30			
		1限　9:30-11:00	8-2/8-3	小児の足部形態による靴の選択と適合／小児靴の木型、機能による選択と適合		1限　9:30-11:00	4-9/11-4	総合的な観察と分析／オートペディックシューテクニック	演習
		2限　11:10-12:40	8-4.	小児靴に考慮する10の課題による適合	モデル演習	2限　11:10-12:40	5-3.	総合的な歩行の観察	演習
		休憩　13:00-14:00	6-2.	[ランチタイムセミナー] 靴による足部変形と下肢障害		休憩　13:00-14:00		[ランチタイムセミナー] 研究発表会レクチャー&ミーティング	
		3限　14:10-15:40	8-5.	小児の足部変形に対する靴の選択と適合	モデル演習	3限　14:10-15:40	7-6.	総合的な靴の機能と評価 -小児靴に必要な10の機能-	
		4限　15:50-17:20	6-5.	[特別講演] 障害を持つこどもたちの姿勢・歩行の特徴　小児整形外科医 多和田 忍		4限　15:50-17:20	8-6.	総合的なシューフィッテング	
		総括　17:30-18:00		質疑応答		総括　17:30-18:00			
		18:00-18:30		研究発表会レクチャー&ミーティング					
		19:00～		懇親会					

基礎４
東京
国際ファッション
センター

2020年 2 月
14日(金)
15日(土)

プライマリー	日 程	1日目 時間	1日目 プログラムNo.	1日目 講義内容		2日目 時間	2日目 プログラムNo.	2日目 講義内容	
基礎４	2020年 2 月 14日(金) 15日(土)	受付　9:15- 9:30				受付　9:15- 9:30			
		1限　9:30-11:00	9-1/9-2	シューカウンセリングのフロー／主訴・ヒアリング・問題の整理・検討・提案		1限　9:30-10:30	6-6/10-1/10-3	成長期におけるスポーツ障害／医療現場における総合的判断／他職種連携	
		2限　11:10-12:40	9-3/9-4	足部評価とシューフィッテング／足部と歩行に問題がみられるケースの検討	演習	2限　10:40-11:40	10-2/10-3	非医療現場での総合的判断／他職種連携による小児の足と靴	
		13:00-14:00		[ランチタイムセミナー] 研究発表会レクチャー&ミーティング		11:40-12:00		質疑応答	
		3限　14:10-15:40	9-5.	様々な観点からの対応と靴の適合・評価	演習	休憩　12:00-13:00		**一般公開受付 13:00-13:30**	
		4限　15:50-17:20	10-2/10-3/10-4	非医療現場での総合的判断／他職種連携／小児靴学の見地の標準化とガイドライン		13:30-14:50	11-6/11-7	**公開プレゼンテーション**［小児靴学研修のご紹介 ―指導者・受講者の立場から―］	
		総括　17:30-18:00		質疑応答		15:00-17:00	11-6/11-7	**研究発表会**	
		18:00～		（受講生自主）研究発表会リハーサル		17:00-18:00		休憩・審査	
						18:00-21:00		**修了式 & 合同パーティ**	

プライマリーコース　プログラム一覧

第１章　小児靴学　担当：伊藤 芙子

1. 小児靴学の目的と意義
2. 小児靴に考慮する10の課題
3. 小児靴に必要な10の機能

第２章　機能解剖学　島村／塩之谷／ベーレ

1. イントロダクション（ヒトの運動の特徴、解剖学基本用語、運動の基本用語）
2. 下肢の形態と構造 I（神経、皮膚、爪）
3. 下肢の形態と構造 II（骨格、筋肉、関節）
4. 足部の構造と機能（関節、筋肉、アーチ機能）
5. 下肢の構造と機能（関節、力とトルク・てこ）

第３章　小児の成長と発達　塩之谷／伊藤

1. 小児の身体と発達 I
2. 小児の身体と発達 II
3. 小児の足部の成長 I
4. 小児の足部の成長 II
5. 小児の歩行と運動 I
6. 小児の歩行と運動 II

第４章　計測技術と分析　伊藤／ベーレ

1. 計測ツールと方法
2. 探型・探寸技術 I
3. 探型・探寸技術 II
4. 初期分析と観察 I
5. 初期分析と観察 II
6. 関節とアーチ機能
7. 足部チェック手技
8. 小児の足部の観察とチェック手技
9. 総合的な観察と分析

第５章　運動学と歩行観察　伊藤／ベーレ

1. 立位と歩行
2. 小児の歩行の観察
3. 総合的な歩行の観察

第６章　下肢のトラブルと整形外科的知識　塩之谷／ベーレ／ゲスト講師

1. 足趾の皮膚と爪のトラブル（小児から成人まで）
2. 靴による足部変形と下肢障害
3. 先天性疾患と足部変形 I
4. 先天性疾患と足部変形 II
5. 様々な下肢のトラブルと歩行
6. 成長期におけるスポーツ障害

第７章　小児靴の知識　伊藤

1. 靴の基礎知識
2. 靴の基本構造
3. 小児靴の役割
4. 小児靴の分類
5. 小児の発達と靴の役割と機能
6. 総合的な靴の機能と評価-小児靴に必要な10の機能-

第８章　小児靴のシューフィッテング　伊藤／ベーレ

1. 小児の年代による靴の選択と適合
2. 小児の足部形態による靴の選択と適合
3. 小児靴の木型、機能による選択と適合
4. 小児靴に考慮する10の課題による適合
5. 小児の足部変形に対する靴の選択と適合
6. 総合的なシューフィッテング

第９章　シューカウンセリングテクニック　伊藤

1. シューカウンセリングのフロー
2. 主訴・ヒアリング・問題の整理・検討・提案
3. 足部評価とシューフィッテング
4. 足部と歩行に問題がみられるケースの検討
5. 様々な観点からの対応と靴の適合・評価

第１０章　医療現場・非医療現場での総合判断　塩之谷／伊藤／ベーレ／ゲスト講師

1. 医療現場における総合的判断
2. 非医療現場における総合的判断
3. 他職種連携
4. 小児靴学的見地の標準化とガイドライン

第１１章　靴の歴史・ドイツ靴文化・啓発活動　塩之谷／伊藤／ベーレ／ゲスト講師

1. 日本における小児靴の歴史
2. ドイツ靴文化
3. 靴医学とエビデンス
4. オートペディックシューテクニック
5. 家庭における足と靴の知識の普及
6. 足育・歩育・靴教育の推進
7. 小児靴学の社会的認知に向けて

アドバンスコース　一覧

機能解剖学　担当：島村

プライマリー基礎１の２コマの続きです。プライマリーコースの方も受講可能

機能解剖学I
１．股関節①（股関節を構成する骨、股関節の構造、靭帯と立位の維持）
２．股関節②（股関節周囲の筋、股関節の運動方向と可動域、歩行との関連）
３．膝関節①（膝関節を構成する骨、膝関節の構造、靭帯と立位の維持）
４．膝関節②（膝関節周囲の筋、膝関節の運動方向と可動域、歩行との関連）

機能解剖学II
５．足部の関節①距腿関節（距腿関節の構造、構成する骨など）
６．足部の関節②距腿関節（足関節周囲の筋、足関節の運動方向など）
７．足部の関節③距骨下関節（関節軸と運動、運動を起こす筋、歩行との関連）
８．足部の関節④横足根関節と足趾の関節（関節軸、距骨下関節との関連、
　バイオメカニクス、足趾の運動と巻き上げ機構、歩行との関連など）

機能解剖学III
９．歩行分析①（歩行とは。歩行を表す時間、距離要素。基本用語）
10．歩行分析②（歩行中の股関節、膝関節、足関節などの関節運動）
11．歩行分析③（歩行中の筋活動。床反力、モーメントと筋活動）
12．歩行分析④（総合、まとめと実習）

機能解剖学IV
13．歩行分析⑤（各関節の可動域、形態の変異と歩行の変化）
14．歩行分析⑥（関節の可動域、変異をみるためのテストと歩行）
15．終講試験（課題の発表と課題のための実習）
16．終講試験（課題の発表と課題のための実習）

機能解剖学 V
17．復習（講義全体のまとめと終講試験の振り返り）
18．復習（講義全体のまとめと終講試験の振り返り）
19．終講試験（課題の解説）
20．終講試験（課題の解説）

対外活動講習（セミナー講師養成・学術発表指導）　担当：伊藤／塩之谷

プライマリーコースの方も受講可能

プライマリーコースの修了認定のための研究発表や関連記事の執筆、セミナー活動から学会発表まで広くカバーする講習。
様々な発信をする際に欠かせない根拠を伴った情報とは？を学び、内容の精査、PPTや原稿作成のコツ、参考文献の示し方、メディア・情報リテラシーを身につけ、セミナー講師として不可欠な知識を習得するコース。学会発表や論文にして学術的に示すことは、個人の講演レベルをより信頼度の高い見識として発信できるようになる重要なスキルです。ひとりでは解決することが難しい課題について、受講者・講師陣と意見交換をしながら、総合的な対外活動ができるスキルを身につけていただくことが目的です。継続参加することで「アクティブ・ラーニング」効果が増し、受講者のスキルアップが望めます。

カウンセリングと適合技術 I II III　担当：伊藤

プライマリーコース修了者対象

相談者対応のフローとカウンセリング・シューフィッティングの実践版講習。
専門者として小児の足と歩行の相談について判断を加え、アドバイスするためには、医学的知識・理論的思考・情報収集力・説明力などを要したカウンセリングテクニックが欠かせません。メーカーサイドの情報だけではなく、木型、素材、適合を知り、客観的な機能的選択が重要です。靴販売現場はもちろん、販売を伴わない医療現場や相談業務をされている方々にも「足・歩行・靴の適合」を見極め、的確なアドバイススキルを身につけていただくことが目的です。
1. カウンセリング・シューフィッテングのフロー
2. 主訴・ヒアリング・問題の整理・検討・提案・クロージング
3. 足部の評価とシューフィッテングの評価
4. 足部と歩行に問題を抱えるケースの検討・アドバイス・クロージング
5. 様々なケースの対応と他職種連携

積み上げ式ですが、単日受講でも個々の課題について解決できるよう、ロールプレイングやグループセッションなどを取り入れた「アクティブ・ラーニング」によって、受講者のスキルアップをサポートします。

※アドバンスコースの会場、日程は、毎年度、設定された別表をご覧の上、
JAGSS WEB SITE から、お申し込みください。

プライマリー復習受講

プライマリーを修了された方向けの復習コース

正会員または準会員のうち全日程コース修了の方：無料

会員なら一日単位で何度でも受講できます。一度では消化しきれていない単元も繰り返し受講することで、よりしっかり落とし込めます。また質疑応答の時間を活用し、一期のプライマリー受講中には聞けなかったこと、その後、各々の職場で発生した課題について解決策を講じることができます。